

シリーズ企画

コンピューターの新しい形

02

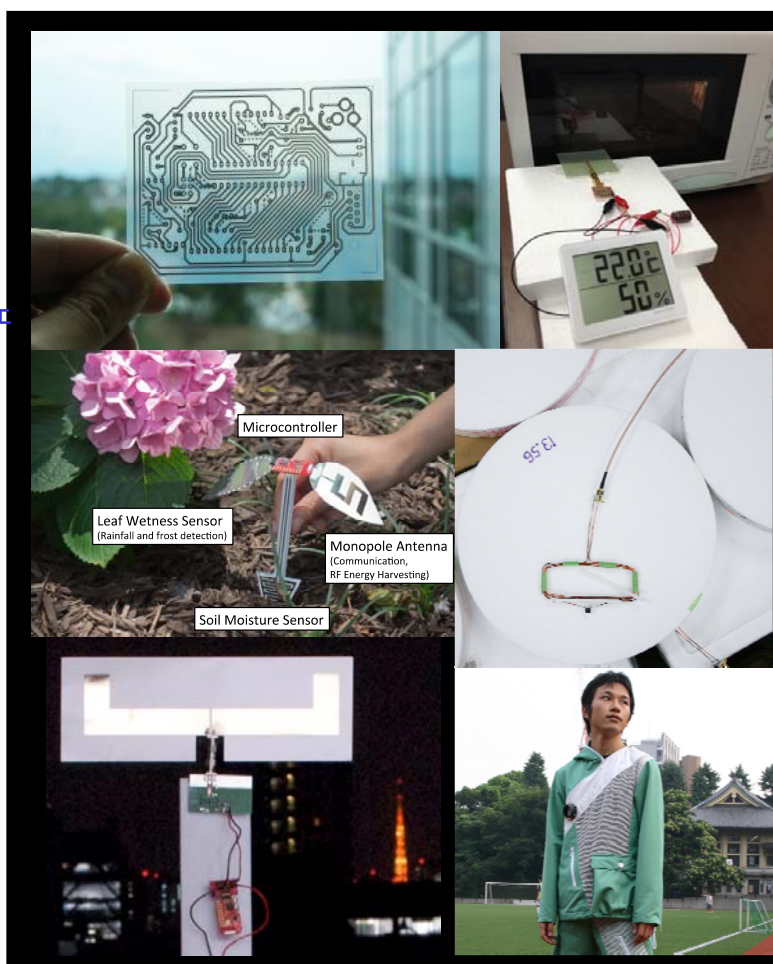
ユビキタスコンピューティングとは、小型のコンピュータや無線ネットワークが人々の生活環境中に溶け込み、ユーザがコンピュータの存在を意識せずともメディアの一部として自然に利用する、いわばコンピュータの存在感が消えた世界観。

ここ10年のモバイル、センサネット、そしてウェアラブルコンピュータなど、要素技術の発達により、ユビキタスコンピューティングの提唱者のMark Weiserが描いた未来予想図は少なからず実現された。

ユビキタスとは何だったのだろうか。
何を消して、何を産んだのだろうか。

次の20年後の世界を読み解くヒントをともに探る。

2011 ジョージア工科大学客員研究員
2013 MIT Media Lab客員研究員
ACM Ubicomp 2013 Best Paper Award



日時:2013年12月17日(火)14:25~15:55

聴講無料

場所:静岡大学浜松キャンパス情報学部1号館5階501号教室
「ユビキタスが消したものの、産んだもの」

講師:東京大学大学院情報理工学系研究科
川原圭博准教授



お問い合わせ先:静岡大学情報学部・猿渡俊介(saru@inf.shizuoka.ac.jp)